

平成 22 年 7 月 30 日

第 120 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

[調査要領]

対象期間	平成 22 年 4 ～6 月期実績見込み 平成 22 年 7 ～9 月期見通し
調査時点	平成 22 年 6 月下旬
対象企業	県内主要企業 506 社
回答状況	回答企業 336 社、回答率 66.4%
特別質問項目	平成 22 年 夏のボーナス支給計画について 宮崎県で発生した口蹄疫について

用 語 今 期＝平成 22 年 4～6 月期 来 期＝平成 22 年 7～9 月期

前 期＝平成 22 年 1～3 月期 前年同期＝平成 21 年 4～6 月期

予 想＝前期調査時(平成 22 年 3 月下旬)の今期見通し

D.I. =「良い」-「悪い」、「増加」-「減少」、いずれも回答企業割合

1. 今期の業況 ～ やや悪化

今期の業況 D.I.は▲40 と、調査開始(昭和 55 年7～9 月期)以来最低となった前年同期(▲56)を上回ったものの、前期(▲36)、予想(▲38)を下回り、景況感はやや悪化した。

項目別にみると、売上・完工高 D.I.(前期▲31→今期▲28)、資金繰り D.I.(同▲16→▲11)はやや改善し、損益 D.I.(同▲20→▲20)は横ばいとなった。

業況 D.I.を産業別にみると、製造業(同▲29→▲30)はほぼ横ばいとなったものの、建設業(同▲43→▲46)、その他産業(同▲38→▲41)はやや悪化、卸売業(同▲37→▲48)、小売業(同▲35→▲46)は悪化した。

2. 来期の業況見通し ～ やや改善

来期の業況見通し D.I.は▲36と、今期(▲40)よりやや改善する見通し。

項目別にみると、売上・完工高 D.I.(今期▲28→来期▲30)、資金繰り D.I.(同▲11→▲15)はやや悪化、損益 D.I.(同▲20→▲27)は悪化する見込み。

業況見通し D.I.を産業別にみると、卸売業(同▲48→▲29)が改善、製造業(同▲30→▲25)、その他産業(同▲41→▲36)がやや改善、小売業(同▲46→▲46)が横ばいながら、建設業(同▲46→▲59)は悪化する見通し。

3. 設備投資 ～ 実施割合は前期よりやや低下

今期設備投資を実施した企業割合は29%と、前期(32%)よりやや低下した。

来期に設備投資を予定している企業割合は28%と、今期(29%)並みの見通し。

4. 経営上の問題点

経営上の問題点としては、「売上・受注不振」(60%)、「競争激化」(57%)、「採算・収益の悪化」(19%)、「製(商)品価格の低下」(17%)となり、上位項目では「競争激化」の割合が上昇した。以下「原材料・仕入品価格高」(16%)、「人件費等経費高」(13%)の順となった。

5. 平成22年夏のボーナス支給計画

平成22年夏のボーナス支給計画については、「支給する」企業割合が71%と前年(73%)を2ポイント下回り、平成入り後、最低水準となった。一方、「支給しない」(前年10%→今年12%)企業割合は前年を上回り、「未定」(同17%→17%)とする企業割合は前年並みであった。

1人当りの支給額については、前年より「減る」とする割合が21%と、平成入り後、最高であった前年(40%)を19ポイント下回った。一方、前年より「増える」とする割合は26%と前年(11%)を15ポイント上回った。

増加率をみると、「1～3%未満」が41%と最も多く、次いで「10%以上」(29%)、「3～5%未満」(12%)となった。増える要因は、「社員の意欲向上」(65%)が最も多く、次いで「業績が向上」(41%)となった。

減少率をみると、「10%以上」が42%で最も多く、次いで「5～10%未満」(33%)、「1～3%未満」(14%)となった。減る要因は、「業績が悪化」が86%と大半を占めた。

6. 宮崎県で発生した口蹄疫について

宮崎県で発生した口蹄疫について、業況への影響をみると、「影響あり」と回答した企業割合は34%となった。業種別にみると、卸売業（47%）が最も高くなっており、以下その他産業（42%）、小売業（35%）、製造業（34%）、建設業（9%）の順となった。

これらの業種を詳しくみると、その他産業の中の旅館・ホテル（82%）は、修学旅行など団体客の延期やキャンセルが多発し最も高い割合となった。また運輸・通信（57%）では、移動・搬出制限による荷動きの減少や消毒作業による遅配などの影響があった。卸売業の中の食料品卸売（56%）では県内各地のイベント中止や宿泊客の土産品、料飲の減少で販売面に影響がみられた。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

（株）鹿児島地域経済研究所（TEL 099-225-7491）

第 120 回 県内 企業 ・ 業 況 調 査 結 果 集 計 表

単位：％

四半期別 状況 項目	平成22年1～3月期				平成22年4～6月期					平成22年7～9月期			
	前期実績				今期実績					来期見通し			
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)	前回 調査時 今期 見通し	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)
自社の業況	10	44	46	▲ 36	9	42	49	▲ 40	(▲ 38)	6	52	42	▲ 36
製造業	12	47	41	▲ 29	12	46	42	▲ 30	(▲ 31)	11	53	36	▲ 25
建設業	12	33	55	▲ 43	9	36	55	▲ 46	(▲ 83)	4	33	63	▲ 59
卸売業	8	47	45	▲ 37	5	42	53	▲ 48	(▲ 33)	0	71	29	▲ 29
小売業	16	33	51	▲ 35	11	32	57	▲ 46	(▲ 31)	4	46	50	▲ 46
その他産業	6	50	44	▲ 38	5	49	46	▲ 41	(▲ 35)	3	58	39	▲ 36
生産高(製造業)	19	40	41	▲ 22	18	40	42	▲ 24	(▲ 18)	18	45	37	▲ 19
売上・完工高	18	33	49	▲ 31	20	32	48	▲ 28	(▲ 32)	12	46	42	▲ 30
製造業	22	36	42	▲ 20	22	33	45	▲ 23	(▲ 20)	19	40	41	▲ 22
建設業	21	21	58	▲ 37	19	32	49	▲ 30	(▲ 61)	11	33	56	▲ 45
卸売業	10	41	49	▲ 39	30	32	38	▲ 8	(▲ 43)	11	62	27	▲ 16
小売業	21	23	56	▲ 35	21	22	57	▲ 36	(▲ 27)	6	42	52	▲ 46
その他産業	14	36	50	▲ 36	15	35	50	▲ 35	(▲ 27)	10	55	35	▲ 25
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 15	適正 74	不足 11		過剰 10	適正 78	不足 12	▲ 2					
販売価格	上昇 5	横ばい 60	低下 35	▲ 30	上昇 8	横ばい 61	低下 31	▲ 23	(▲ 26)	上昇 6	横ばい 67	低下 27	▲ 21
仕入価格	上昇 14	横ばい 74	低下 12	2	上昇 26	横ばい 66	低下 8	18	(11)	上昇 21	横ばい 72	低下 7	14
損益	好転 18	横ばい 44	悪化 38	▲ 20	好転 18	横ばい 44	悪化 38	▲ 20	(▲ 25)	好転 10	横ばい 53	悪化 37	▲ 27
製造業	22	45	33	▲ 11	22	39	39	▲ 17	(▲ 17)	16	49	35	▲ 19
建設業	19	30	51	▲ 32	22	36	42	▲ 20	(▲ 58)	7	29	64	▲ 57
卸売業	13	54	33	▲ 20	22	59	19	3	(▲ 18)	5	78	17	▲ 12
小売業	23	37	40	▲ 17	17	41	42	▲ 25	(▲ 19)	6	53	41	▲ 35
その他産業	11	51	38	▲ 27	10	48	42	▲ 32	(▲ 27)	7	59	34	▲ 27
資金繰り	楽 7	普通 70	窮屈 23	▲ 16	楽 10	普通 69	窮屈 21	▲ 11	(▲ 18)	楽 8	普通 69	窮屈 23	▲ 15
製造業	13	67	20	▲ 7	13	72	15	▲ 2	(▲ 15)	8	71	21	▲ 13
建設業	7	67	26	▲ 19	13	64	23	▲ 10	(▲ 28)	9	57	34	▲ 25
卸売業	5	80	15	▲ 10	11	76	13	▲ 2	(▲ 8)	6	83	11	▲ 5
小売業	4	58	38	▲ 34	4	54	42	▲ 38	(▲ 31)	4	61	35	▲ 31
その他産業	3	79	18	▲ 15	7	75	18	▲ 11	(▲ 14)	11	71	18	▲ 7
雇用人員	過剰 11	適正 81	不足 8	3	過剰 14	適正 80	不足 6	8	(10)	過剰 13	適正 81	不足 6	7
製造業	15	77	8	7	17	80	3	14	(8)	13	82	5	8
建設業	7	86	7	0	24	72	4	20	(40)	21	75	4	17
卸売業	13	82	5	8	13	82	5	8	(6)	14	83	3	11
小売業	10	78	12	▲ 2	13	83	4	9	(11)	11	82	7	4
その他産業	7	86	7	0	8	81	11	▲ 3	(4)	11	79	10	

第120回 企業業況アンケート調査

回答率

単位：%

	対象企業	回答企業	回答率
製造業	145	102	70.3
食料品	67	49	73.1
繊維	8	4	50.0
木材	5	3	60.0
紙・パルプ	3	3	100.0
窯業・土石	13	10	76.9
機械・金属	20	12	60.0
電機・電子	18	13	72.2
その他	11	8	72.7
非製造業計	361	234	64.8
建設業	65	47	72.3
土木	22	13	59.1
建築	17	12	70.6
総合建設	12	11	91.7
その他	14	11	78.6
卸売業	61	38	62.3
食料品	29	18	62.1
建設資材	11	9	81.8
家電製品	5	3	60.0
その他	16	8	50.0
小売業	97	54	55.7
百貨店・スーパー	18	9	50.0
衣料品	9	5	55.6
自動車	16	4	25.0
家電製品	6	4	66.7
石油	11	8	72.7
その他	37	24	64.9
その他	138	95	68.8
旅館・ホテル	22	17	77.3
運輸	33	21	63.6
外食産業	9	3	33.3
サービス	64	46	71.9
農林水産	10	8	80.0
合計(製造+非製造)	506	336	66.4

業況D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
11年	4～6	月期	▲ 31	▲ 26	▲ 17	▲ 34	▲ 41	▲ 37
	7～9	"	▲ 31	▲ 28	▲ 30	▲ 43	▲ 37	▲ 20
	10～12	"	▲ 11	▲ 1	▲ 11	▲ 8	▲ 40	▲ 5
12年	1～3	"	▲ 11	▲ 5	▲ 4	▲ 18	▲ 24	▲ 8
	4～6	"	▲ 23	▲ 14	▲ 37	▲ 50	▲ 13	▲ 24
	7～9	"	▲ 23	▲ 15	▲ 35	▲ 31	▲ 25	▲ 21
	10～12	"	▲ 13	▲ 6	▲ 4	▲ 15	▲ 28	▲ 17
13年	1～3	"	▲ 22	▲ 27	▲ 2	▲ 18	▲ 35	▲ 18
	4～6	"	▲ 39	▲ 42	▲ 42	▲ 29	▲ 41	▲ 33
	7～9	"	▲ 41	▲ 51	▲ 30	▲ 43	▲ 39	▲ 28
	10～12	"	▲ 34	▲ 23	▲ 32	▲ 30	▲ 56	▲ 29
14年	1～3	"	▲ 34	▲ 31	▲ 44	▲ 37	▲ 36	▲ 28
	4～6	"	▲ 30	▲ 18	▲ 60	▲ 31	▲ 34	▲ 21
	7～9	"	▲ 30	▲ 13	▲ 52	▲ 31	▲ 44	▲ 24
	10～12	"	▲ 18	▲ 6	▲ 29	▲ 22	▲ 42	▲ 19
15年	1～3	"	▲ 25	▲ 13	▲ 29	▲ 19	▲ 41	▲ 28
	4～6	"	▲ 35	▲ 16	▲ 58	▲ 25	▲ 58	▲ 29
	7～9	"	▲ 24	▲ 7	▲ 48	▲ 29	▲ 34	▲ 25
	10～12	"	▲ 17	▲ 7	▲ 33	▲ 33	▲ 42	▲ 15
16年	1～3	"	▲ 12	▲ 5	▲ 35	▲ 8	▲ 23	▲ 11
	4～6	"	▲ 23	▲ 2	▲ 61	▲ 25	▲ 43	▲ 12
	7～9	"	▲ 21	▲ 8	▲ 37	▲ 27	▲ 36	▲ 14
	10～12	"	▲ 7	▲ 11	▲ 23	▲ 6	▲ 29	▲ 8
17年	1～3	"	▲ 24	▲ 16	▲ 31	▲ 17	▲ 33	▲ 31
	4～6	"	▲ 26	▲ 17	▲ 60	▲ 18	▲ 24	▲ 26
	7～9	"	▲ 27	▲ 23	▲ 40	▲ 23	▲ 28	▲ 25
	10～12	"	▲ 18	▲ 2	▲ 28	▲ 8	▲ 29	▲ 25
18年	1～3	"	▲ 22	▲ 19	▲ 23	▲ 14	▲ 36	▲ 18
	4～6	"	▲ 25	▲ 17	▲ 42	▲ 17	▲ 32	▲ 22
	7～9	"	▲ 32	▲ 31	▲ 33	▲ 25	▲ 43	▲ 28
	10～12	"	▲ 27	▲ 24	▲ 33	▲ 30	▲ 54	▲ 11
19年	1～3	"	▲ 24	▲ 19	▲ 27	▲ 35	▲ 52	▲ 5
	4～6	"	▲ 32	▲ 31	▲ 33	▲ 38	▲ 44	▲ 19
	7～9	"	▲ 38	▲ 45	▲ 31	▲ 41	▲ 51	▲ 19
	10～12	"	▲ 33	▲ 32	▲ 49	▲ 22	▲ 54	▲ 19
20年	1～3	"	▲ 34	▲ 26	▲ 49	▲ 32	▲ 52	▲ 26
	4～6	"	▲ 46	▲ 45	▲ 66	▲ 42	▲ 63	▲ 29
	7～9	"	▲ 51	▲ 42	▲ 68	▲ 56	▲ 74	▲ 38
	10～12	"	▲ 51	▲ 42	▲ 66	▲ 48	▲ 76	▲ 39
21年	1～3	"	▲ 53	▲ 48	▲ 63	▲ 38	▲ 71	▲ 45
	4～6	"	▲ 56	▲ 59	▲ 65	▲ 42	▲ 63	▲ 48
	7～9	"	▲ 46	▲ 45	▲ 53	▲ 38	▲ 42	▲ 49
	10～12	"	▲ 43	▲ 33	▲ 45	▲ 56	▲ 50	▲ 43
22年	1～3	"	▲ 36	▲ 29	▲ 43	▲ 37	▲ 35	▲ 38
	4～6	"	▲ 40	▲ 30	▲ 46	▲ 48	▲ 46	▲ 41
	7～9	月期見通し	▲ 36	▲ 25	▲ 59	▲ 29	▲ 46	▲ 36

(注) D. I. = 「良い」 - 「悪い」

売上・完工高D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
11年	4～6	月期	▲ 16	▲ 8	▲ 39	▲ 13	▲ 12	▲ 15
	7～9	"	▲ 14	▲ 10	▲ 15	▲ 32	▲ 24	0
	10～12	"	▲ 6	0	▲ 30	7	▲ 8	▲ 10
12年	1～3	"	▲ 3	▲ 2	▲ 17	▲ 7	0	2
	4～6	"	▲ 12	▲ 10	▲ 42	▲ 28	8	▲ 7
	7～9	"	▲ 13	▲ 8	▲ 36	▲ 11	▲ 4	▲ 16
	10～12	"	▲ 17	▲ 16	▲ 28	▲ 20	▲ 11	▲ 16
13年	1～3	"	▲ 12	▲ 20	9	▲ 12	▲ 5	▲ 24
	4～6	"	▲ 30	▲ 37	▲ 28	▲ 19	▲ 28	▲ 29
	7～9	"	▲ 39	▲ 50	▲ 40	▲ 38	▲ 43	▲ 17
	10～12	"	▲ 29	▲ 23	▲ 30	▲ 39	▲ 26	▲ 38
14年	1～3	"	▲ 30	▲ 33	▲ 33	▲ 38	▲ 24	▲ 22
	4～6	"	▲ 26	▲ 15	▲ 56	▲ 32	▲ 21	▲ 21
	7～9	"	▲ 18	7	▲ 46	▲ 25	▲ 20	▲ 22
	10～12	"	▲ 18	▲ 2	▲ 25	▲ 14	▲ 26	▲ 33
15年	1～3	"	▲ 21	▲ 8	▲ 50	▲ 10	▲ 15	▲ 36
	4～6	"	▲ 23	▲ 5	▲ 45	▲ 7	▲ 44	▲ 26
	7～9	"	▲ 13	0	▲ 35	▲ 17	▲ 18	▲ 14
	10～12	"	▲ 17	1	▲ 34	▲ 25	▲ 21	▲ 26
16年	1～3	"	▲ 3	30	▲ 43	▲ 4	▲ 14	▲ 10
	4～6	"	▲ 10	7	▲ 39	▲ 10	▲ 28	1
	7～9	"	▲ 9	▲ 2	▲ 39	▲ 17	▲ 24	▲ 6
	10～12	"	▲ 3	12	▲ 31	▲ 10	▲ 14	▲ 12
17年	1～3	"	▲ 21	▲ 22	▲ 41	▲ 7	▲ 18	▲ 19
	4～6	"	▲ 12	▲ 9	▲ 43	▲ 7	7	▲ 20
	7～9	"	▲ 17	▲ 21	▲ 40	▲ 13	▲ 3	▲ 12
	10～12	"	▲ 12	▲ 12	▲ 30	9	▲ 5	▲ 16
18年	1～3	"	▲ 13	▲ 18	▲ 31	▲ 16	6	▲ 3
	4～6	"	▲ 15	▲ 17	▲ 33	▲ 15	▲ 11	▲ 8
	7～9	"	▲ 18	▲ 22	▲ 11	▲ 25	▲ 17	▲ 11
	10～12	"	▲ 20	▲ 18	▲ 28	▲ 33	▲ 30	▲ 7
19年	1～3	"	▲ 13	▲ 18	▲ 9	▲ 31	▲ 17	8
	4～6	"	▲ 22	▲ 20	▲ 36	▲ 29	▲ 23	▲ 15
	7～9	"	▲ 27	▲ 31	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 14
	10～12	"	▲ 23	▲ 8	▲ 45	▲ 22	▲ 50	▲ 13
20年	1～3	"	▲ 24	▲ 10	▲ 32	▲ 20	▲ 45	▲ 27
	4～6	"	▲ 27	▲ 15	▲ 49	▲ 27	▲ 44	▲ 22
	7～9	"	▲ 35	▲ 23	▲ 50	▲ 38	▲ 50	▲ 28
	10～12	"	▲ 36	▲ 28	▲ 46	▲ 29	▲ 59	▲ 27
21年	1～3	"	▲ 50	▲ 44	▲ 40	▲ 38	▲ 74	▲ 50
	4～6	"	▲ 55	▲ 53	▲ 56	▲ 52	▲ 69	▲ 50
	7～9	"	▲ 49	▲ 53	▲ 36	▲ 38	▲ 57	▲ 50
	10～12	"	▲ 47	▲ 39	▲ 38	▲ 65	▲ 49	▲ 53
22年	1～3	"	▲ 31	▲ 20	▲ 37	▲ 39	▲ 35	▲ 36
	4～6	"	▲ 28	▲ 23	▲ 30	▲ 8	▲ 36	▲ 35
	7～9	月期見通し	▲ 30	▲ 22	▲ 45	▲ 16	▲ 46	▲ 25

(注) D. I. = 「増加」 - 「減少」

損益D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
11年	4～6	月期	▲ 3	3	▲ 20	▲ 14	1	6
	7～9	"	▲ 9	▲ 4	▲ 22	▲ 21	▲ 5	▲ 4
	10～12	"	▲ 4	4	▲ 13	▲ 4	▲ 11	▲ 4
12年	1～3	"	▲ 2	3	▲ 16	▲ 5	▲ 1	0
	4～6	"	▲ 9	1	▲ 34	▲ 24	11	▲ 21
	7～9	"	▲ 8	▲ 4	▲ 18	▲ 2	2	▲ 18
	10～12	"	▲ 13	▲ 9	▲ 27	▲ 6	▲ 8	▲ 19
13年	1～3	"	▲ 11	▲ 15	0	▲ 5	▲ 11	▲ 18
	4～6	"	▲ 22	▲ 39	▲ 23	▲ 17	0	▲ 15
	7～9	"	▲ 29	▲ 41	▲ 29	▲ 23	▲ 30	▲ 17
	10～12	"	▲ 29	▲ 26	▲ 44	▲ 27	▲ 39	▲ 14
14年	1～3	"	▲ 21	▲ 22	▲ 40	▲ 15	▲ 16	▲ 17
	4～6	"	▲ 13	0	▲ 42	▲ 19	▲ 8	▲ 9
	7～9	"	▲ 7	8	▲ 33	▲ 12	3	▲ 12
	10～12	"	▲ 11	7	▲ 19	▲ 16	▲ 20	▲ 19
15年	1～3	"	▲ 12	▲ 1	▲ 29	▲ 17	▲ 3	▲ 18
	4～6	"	▲ 13	▲ 2	▲ 25	▲ 19	▲ 16	▲ 13
	7～9	"	▲ 10	3	▲ 25	▲ 20	▲ 14	▲ 13
	10～12	"	▲ 11	4	▲ 30	▲ 18	▲ 13	▲ 15
16年	1～3	"	▲ 1	16	▲ 31	▲ 2	▲ 7	2
	4～6	"	▲ 9	2	▲ 45	▲ 12	▲ 13	3
	7～9	"	▲ 7	6	▲ 35	▲ 9	▲ 10	▲ 2
	10～12	"	▲ 5	2	▲ 28	6	▲ 5	▲ 13
17年	1～3	"	▲ 18	▲ 11	▲ 41	0	▲ 20	▲ 26
	4～6	"	▲ 12	▲ 7	▲ 42	2	0	▲ 20
	7～9	"	▲ 16	▲ 17	▲ 33	▲ 15	▲ 4	▲ 14
	10～12	"	▲ 13	▲ 11	▲ 30	5	▲ 9	▲ 17
18年	1～3	"	▲ 23	▲ 22	▲ 36	▲ 22	▲ 19	▲ 20
	4～6	"	▲ 22	▲ 21	▲ 25	▲ 9	▲ 35	▲ 17
	7～9	"	▲ 28	▲ 36	▲ 24	▲ 14	▲ 40	▲ 22
	10～12	"	▲ 23	▲ 16	▲ 32	▲ 19	▲ 42	▲ 19
19年	1～3	"	▲ 19	▲ 12	▲ 32	▲ 35	▲ 30	▲ 3
	4～6	"	▲ 18	▲ 16	▲ 18	▲ 30	▲ 23	▲ 13
	7～9	"	▲ 24	▲ 29	▲ 27	▲ 25	▲ 28	▲ 13
	10～12	"	▲ 31	▲ 31	▲ 38	▲ 21	▲ 58	▲ 13
20年	1～3	"	▲ 29	▲ 25	▲ 36	▲ 29	▲ 40	▲ 23
	4～6	"	▲ 33	▲ 33	▲ 51	▲ 12	▲ 50	▲ 26
	7～9	"	▲ 39	▲ 35	▲ 55	▲ 28	▲ 48	▲ 35
	10～12	"	▲ 46	▲ 37	▲ 67	▲ 41	▲ 53	▲ 42
21年	1～3	"	▲ 41	▲ 41	▲ 51	▲ 23	▲ 53	▲ 31
	4～6	"	▲ 38	▲ 42	▲ 50	▲ 26	▲ 33	▲ 35
	7～9	"	▲ 26	▲ 28	▲ 39	▲ 23	▲ 15	▲ 21
	10～12	"	▲ 26	▲ 18	▲ 30	▲ 32	▲ 15	▲ 35
22年	1～3	"	▲ 20	▲ 11	▲ 32	▲ 20	▲ 17	▲ 27
	4～6	"	▲ 20	▲ 17	▲ 20	3	▲ 25	▲ 32
	7～9	月期見通し	▲ 27	▲ 19	▲ 57	▲ 12	▲ 35	▲ 27

(注) D. I. = 「好転」 - 「悪化」

0

資金繰りD. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
11年	4～6	月期	▲ 3	▲ 2	12	▲ 2	▲ 9	▲ 13
	7～9	"	▲ 11	▲ 13	▲ 1	▲ 18	▲ 12	▲ 13
	10～12	"	▲ 8	▲ 3	4	▲ 9	▲ 19	▲ 14
12年	1～3	"	▲ 4	1	9	▲ 8	▲ 9	▲ 13
	4～6	"	0	4	13	6	▲ 6	▲ 15
	7～9	"	▲ 13	▲ 9	2	▲ 4	▲ 17	▲ 26
	10～12	"	▲ 11	▲ 9	▲ 2	▲ 5	▲ 8	▲ 26
13年	1～3	"	▲ 6	▲ 4	6	▲ 6	▲ 8	▲ 19
	4～6	"	▲ 11	▲ 16	6	5	▲ 12	▲ 22
	7～9	"	▲ 13	▲ 19	▲ 7	0	▲ 14	▲ 20
	10～12	"	▲ 16	▲ 12	▲ 14	▲ 11	▲ 22	▲ 24
14年	1～3	"	▲ 12	▲ 9	▲ 10	▲ 11	▲ 10	▲ 24
	4～6	"	▲ 6	▲ 2	▲ 7	▲ 4	▲ 6	▲ 12
	7～9	"	▲ 12	▲ 5	▲ 17	▲ 12	▲ 13	▲ 17
	10～12	"	▲ 10	4	▲ 2	▲ 15	▲ 19	▲ 22
15年	1～3	"	▲ 6	14	▲ 11	▲ 13	▲ 13	▲ 13
	4～6	"	▲ 5	4	8	17	▲ 17	▲ 23
	7～9	"	▲ 7	1	▲ 6	4	▲ 15	▲ 17
	10～12	"	▲ 9	1	▲ 17	▲ 4	▲ 17	▲ 19
16年	1～3	"	▲ 8	5	▲ 17	▲ 4	▲ 19	▲ 7
	4～6	"	▲ 3	8	5	2	▲ 20	▲ 8
	7～9	"	▲ 5	4	▲ 14	▲ 2	▲ 13	▲ 8
	10～12	"	▲ 3	▲ 1	0	3	▲ 13	▲ 4
17年	1～3	"	▲ 6	4	▲ 11	0	▲ 15	▲ 14
	4～6	"	▲ 5	0	8	5	▲ 13	▲ 14
	7～9	"	▲ 12	▲ 15	▲ 10	▲ 4	▲ 16	▲ 10
	10～12	"	▲ 12	▲ 10	▲ 9	7	▲ 20	▲ 17
18年	1～3	"	▲ 9	▲ 11	▲ 5	5	▲ 26	▲ 6
	4～6	"	▲ 7	▲ 5	▲ 2	2	▲ 17	▲ 7
	7～9	"	▲ 11	▲ 11	▲ 4	0	▲ 24	▲ 13
	10～12	"	▲ 13	▲ 9	▲ 13	0	▲ 28	▲ 13
19年	1～3	"	▲ 11	▲ 14	▲ 6	0	▲ 28	▲ 4
	4～6	"	▲ 7	▲ 6	4	▲ 7	▲ 24	▲ 8
	7～9	"	▲ 13	▲ 13	▲ 5	▲ 14	▲ 24	▲ 11
	10～12	"	▲ 16	▲ 12	▲ 19	▲ 5	▲ 35	▲ 9
20年	1～3	"	▲ 18	▲ 14	▲ 23	▲ 8	▲ 25	▲ 17
	4～6	"	▲ 20	▲ 16	▲ 25	▲ 22	▲ 34	▲ 14
	7～9	"	▲ 26	▲ 20	▲ 27	▲ 23	▲ 46	▲ 18
	10～12	"	▲ 24	▲ 22	▲ 31	▲ 20	▲ 33	▲ 18
21年	1～3	"	▲ 21	▲ 24	▲ 8	▲ 14	▲ 39	▲ 17
	4～6	"	▲ 23	▲ 22	▲ 22	▲ 19	▲ 36	▲ 15
	7～9	"	▲ 17	▲ 14	▲ 15	▲ 9	▲ 28	▲ 17
	10～12	"	▲ 17	▲ 12	▲ 12	▲ 15	▲ 29	▲ 20
22年	1～3	"	▲ 16	▲ 7	▲ 19	▲ 10	▲ 34	▲ 15
	4～6	"	▲ 11	▲ 2	▲ 10	▲ 2	▲ 38	▲ 11
	7～9	月期見通し	▲ 15	▲ 13	▲ 25	▲ 5	▲ 31	▲ 7

(注) D. I. = 「楽」 - 「窮屈」

第120回

業況D.I.

	21年4～6月期	22年1～3月期	22年4～6月期		22年7～9月期
	前年同期	前期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	▲ 56	▲ 36	▲ 38	▲ 40	▲ 36
製 造 業	▲ 59	▲ 29	▲ 31	▲ 30	▲ 25
食 料 品	▲ 40	▲ 43	▲ 37	▲ 36	▲ 32
織 維	▲ 67	▲ 33	▲ 20	0	▲ 25
木 材	▲ 60	▲ 33	▲ 100	▲ 67	0
紙・パルプ	▲ 50	▲ 67	▲ 67	▲ 67	▲ 67
窯業・土石	▲ 82	0	▲ 82	▲ 60	▲ 50
機械・金属	▲ 82	▲ 6	▲ 6	▲ 16	0
電機・電子	▲ 75	▲ 13	▲ 13	0	8
その 他	▲ 63	▲ 30	▲ 30	▲ 12	▲ 37
建 設 業	▲ 65	▲ 43	▲ 83	▲ 46	▲ 59
土 木	▲ 60	▲ 43	▲ 86	▲ 77	▲ 92
建 築	▲ 58	▲ 34	▲ 89	▲ 25	▲ 33
総合建設	▲ 83	▲ 33	▲ 88	▲ 55	▲ 64
その 他	▲ 70	▲ 60	▲ 70	▲ 27	▲ 40
卸 売 業	▲ 42	▲ 37	▲ 33	▲ 48	▲ 29
食 料 品	▲ 27	▲ 38	▲ 29	▲ 65	▲ 35
建設資材	▲ 78	▲ 38	▲ 38	▲ 45	▲ 13
その 他	▲ 37	▲ 45	▲ 33	▲ 15	▲ 29
小 売 業	▲ 63	▲ 35	▲ 31	▲ 46	▲ 46
百貨店・スーパー	▲ 82	▲ 33	▲ 33	▲ 56	▲ 44
衣 料 品	▲ 100	▲ 75	▲ 50	▲ 80	▲ 80
自 動 車	▲ 67	25	0	25	▲ 25
家電製品	▲ 100	50	50	50	0
石 油	▲ 25	▲ 29	▲ 33	▲ 50	▲ 50
その 他	▲ 45	▲ 48	▲ 36	▲ 63	▲ 50
そ の 他	▲ 48	▲ 38	▲ 35	▲ 41	▲ 36
旅館・ホテル	▲ 37	▲ 41	▲ 50	▲ 77	▲ 65
運 輸	▲ 41	▲ 35	▲ 22	▲ 28	▲ 43
サービ	▲ 60	▲ 40	▲ 36	▲ 40	▲ 28

第120回

売上・完工高D.I.

	21年4～6月期	22年1～3月期	22年4～6月期		22年7～9月期
	前年同期	前期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	▲ 55	▲ 31	▲ 32	▲ 28	▲ 30
製 造 業	▲ 53	▲ 20	▲ 20	▲ 23	▲ 22
食 料 品	▲ 25	▲ 47	▲ 23	▲ 41	▲ 36
織 維	▲ 50	▲ 16	▲ 17	▲ 25	0
木 材	▲ 80	0	▲ 34	▲ 67	0
紙・パルプ	▲ 50	▲ 34	▲ 67	▲ 67	▲ 67
窯業・土石	▲ 82	19	▲ 73	▲ 50	▲ 40
機械・金属	▲ 88	0	▲ 6	17	17
電機・電子	▲ 75	26	40	30	31
その 他	▲ 75	▲ 30	▲ 50	0	▲ 62
建 設 業	▲ 56	▲ 37	▲ 61	▲ 30	▲ 45
土 木	▲ 40	▲ 21	▲ 72	▲ 39	▲ 67
建 築	▲ 50	▲ 45	▲ 89	▲ 41	▲ 25
総合建設	▲ 83	▲ 45	▲ 88	▲ 46	▲ 55
その 他	▲ 70	▲ 46	▲ 9	▲ 9	▲ 37
卸 売 業	▲ 52	▲ 39	▲ 43	▲ 8	▲ 16
食 料 品	▲ 35	▲ 44	▲ 53	▲ 33	▲ 27
建設資材	▲ 100	▲ 63	▲ 50	▲ 13	▲ 12
その 他	▲ 37	▲ 10	▲ 30	38	0
小 売 業	▲ 69	▲ 35	▲ 27	▲ 36	▲ 46
百貨店・スーパー	▲ 64	▲ 34	▲ 45	▲ 45	▲ 44
衣 料 品	▲ 100	▲ 100	▲ 50	▲ 80	▲ 80
自 動 車	▲ 45	75	33	75	▲ 25
家電製品	▲ 100	50	50	50	0
石 油	▲ 75	0	20	▲ 26	▲ 25
その 他	▲ 70	▲ 61	▲ 42	▲ 63	▲ 58
そ の 他	▲ 50	▲ 36	▲ 27	▲ 35	▲ 25
旅館・ホテル	▲ 44	▲ 53	▲ 44	▲ 76	▲ 65
運 輸	▲ 57	▲ 17	▲ 9	▲ 10	▲ 10
サービ	▲ 53	▲ 41	▲ 32	▲ 29	▲ 20

第120回

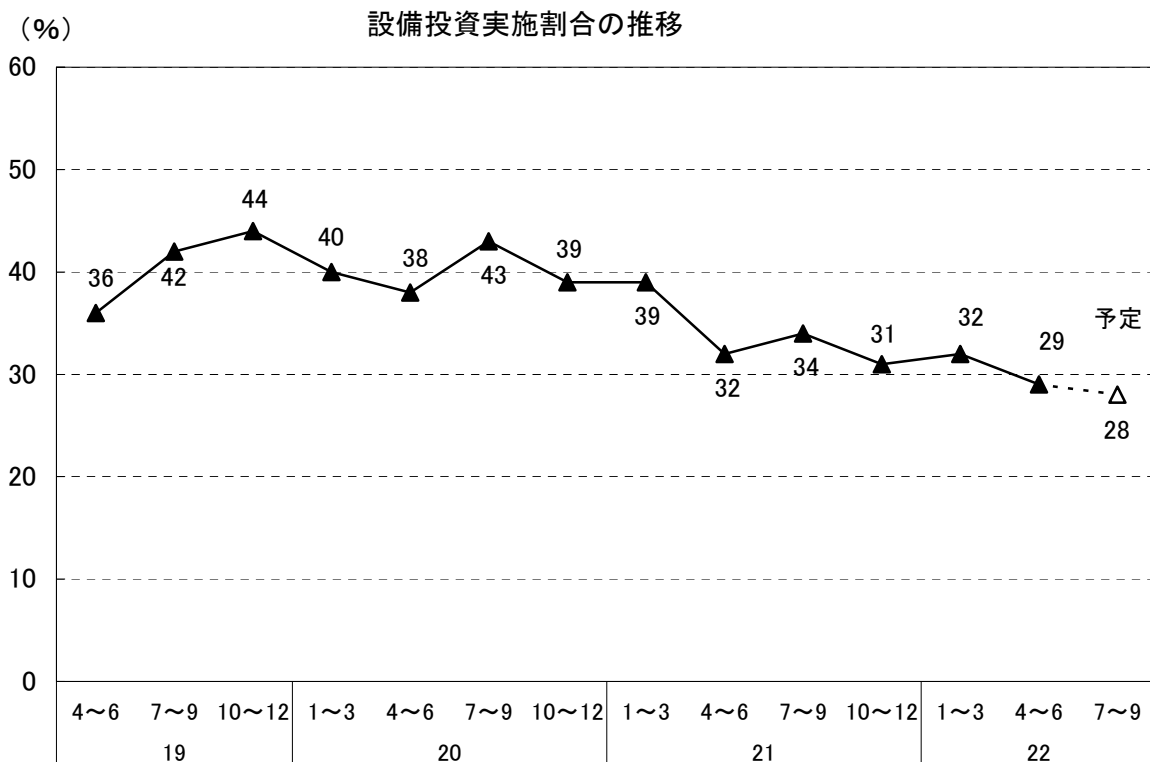
損益D.I.

	21年4～6月期	22年1～3月期	22年4～6月期		22年7～9月期
	前年同期	前期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全業種	▲ 38	▲ 20	▲ 25	▲ 20	▲ 27
製造業	▲ 42	▲ 11	▲ 17	▲ 17	▲ 19
食料品	▲ 19	▲ 25	▲ 21	▲ 31	▲ 36
繊維	0	0	17	0	0
木材	▲ 20	▲ 34	▲ 100	▲ 100	▲ 34
紙・パルプ	▲ 50	▲ 33	▲ 67	▲ 67	▲ 33
窯業・土石	▲ 64	28	▲ 37	▲ 40	▲ 20
機械・金属	▲ 77	▲ 19	0	25	16
電機・電子	▲ 82	33	20	39	31
その他	▲ 50	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 51
建設業	▲ 50	▲ 32	▲ 58	▲ 20	▲ 57
土木	▲ 40	▲ 34	▲ 80	▲ 50	▲ 82
建築	▲ 46	▲ 34	▲ 67	▲ 17	▲ 41
総合建設	▲ 67	0	▲ 63	▲ 27	▲ 73
その他	▲ 60	▲ 55	▲ 18	20	▲ 30
卸売業	▲ 26	▲ 20	▲ 18	3	▲ 12
食料品	▲ 15	▲ 22	▲ 11	▲ 17	▲ 22
建設資材	▲ 22	▲ 12	▲ 25	33	13
その他	▲ 50	▲ 40	▲ 30	0	▲ 12
小売業	▲ 33	▲ 17	▲ 19	▲ 25	▲ 35
百貨店・スーパー	▲ 46	▲ 25	▲ 13	▲ 12	▲ 13
衣料品	▲ 60	▲ 75	▲ 25	▲ 40	▲ 40
自動車	0	50	25	50	▲ 25
家電製品	▲ 100	100	50	50	0
石油	▲ 25	▲ 15	▲ 43	▲ 63	▲ 75
その他	▲ 35	▲ 27	▲ 25	▲ 38	▲ 38
その他	▲ 35	▲ 27	▲ 27	▲ 32	▲ 27
旅館・ホテル	▲ 31	▲ 23	▲ 47	▲ 76	▲ 65
運輸	▲ 27	▲ 27	▲ 14	▲ 15	▲ 25
サービス	▲ 42	▲ 28	▲ 23	▲ 27	▲ 20

第120回

資金繰りD.I.

	21年4～6月期	22年1～3月期	22年4～6月期		22年7～9月期
	前年同期	前期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全業種	▲ 23	▲ 16	▲ 18	▲ 11	▲ 15
製造業	▲ 22	▲ 7	▲ 15	▲ 2	▲ 13
食料品	▲ 7	0	▲ 6	2	▲ 9
繊維	▲ 16	0	0	25	25
木材	▲ 20	0	▲ 33	0	0
紙・パルプ	▲ 50	▲ 33	▲ 33	▲ 33	▲ 33
窯業・土石	▲ 36	0	▲ 27	0	0
機械・金属	▲ 35	▲ 44	▲ 38	▲ 16	▲ 42
電機・電子	▲ 60	7	▲ 7	▲ 9	▲ 17
その他	▲ 12	▲ 20	▲ 20	0	▲ 26
建設業	▲ 22	▲ 19	▲ 28	▲ 10	▲ 25
土木	▲ 27	▲ 7	▲ 36	▲ 8	▲ 38
建築	▲ 27	0	0	▲ 8	▲ 8
総合建設	0	▲ 33	▲ 44	▲ 27	▲ 36
その他	▲ 20	▲ 36	▲ 27	0	▲ 18
卸売業	▲ 19	▲ 10	▲ 8	▲ 2	▲ 5
食料品	▲ 6	0	6	11	12
建設資材	▲ 22	▲ 25	▲ 25	▲ 11	▲ 25
その他	▲ 38	▲ 20	▲ 20	▲ 25	▲ 25
小売業	▲ 36	▲ 34	▲ 31	▲ 38	▲ 31
百貨店・スーパー	▲ 27	▲ 25	▲ 25	▲ 38	▲ 38
衣料品	▲ 60	▲ 100	▲ 100	▲ 80	▲ 80
自動車	▲ 11	0	0	0	0
家電製品	0	0	0	▲ 25	▲ 25
石油	▲ 25	▲ 29	▲ 17	▲ 25	▲ 25
その他	▲ 50	▲ 36	▲ 34	▲ 44	▲ 27
その他	▲ 15	▲ 15	▲ 14	▲ 11	▲ 7
旅館・ホテル	▲ 25	▲ 18	▲ 25	▲ 29	▲ 17
運輸	▲ 9	▲ 18	▲ 18	▲ 9	▲ 9
サービス	▲ 11	▲ 7	0	2	2



第120回

設備投資

単位: %

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他	
22 年 4 ~ 6 月	実施した	29	46	16	18	15	28	
	投資 目的	生産・販売能力増強	48	44	43	80	63	46
		省力化、合理化、省エネ	31	35	29	0	25	33
		経営多角化	0	0	0	0	0	0
		新製品等の研究開発	6	7	14	0	0	4
		その他	31	40	29	40	25	17
実施しなかった	71	54	84	82	85	72		
22 年 7 ~ 9 月	実施予定	28	39	7	24	21	33	
	投資 目的	生産・販売能力増強	53	51	67	75	64	45
		省力化、合理化、省エネ	34	49	0	25	18	28
		経営多角化	2	0	0	0	0	7
		新製品等の研究開発	7	8	0	0	0	10
		その他	26	27	67	13	27	24
実施予定なし	72	61	93	76	79	67		

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答。

設備投資実施割合の推移

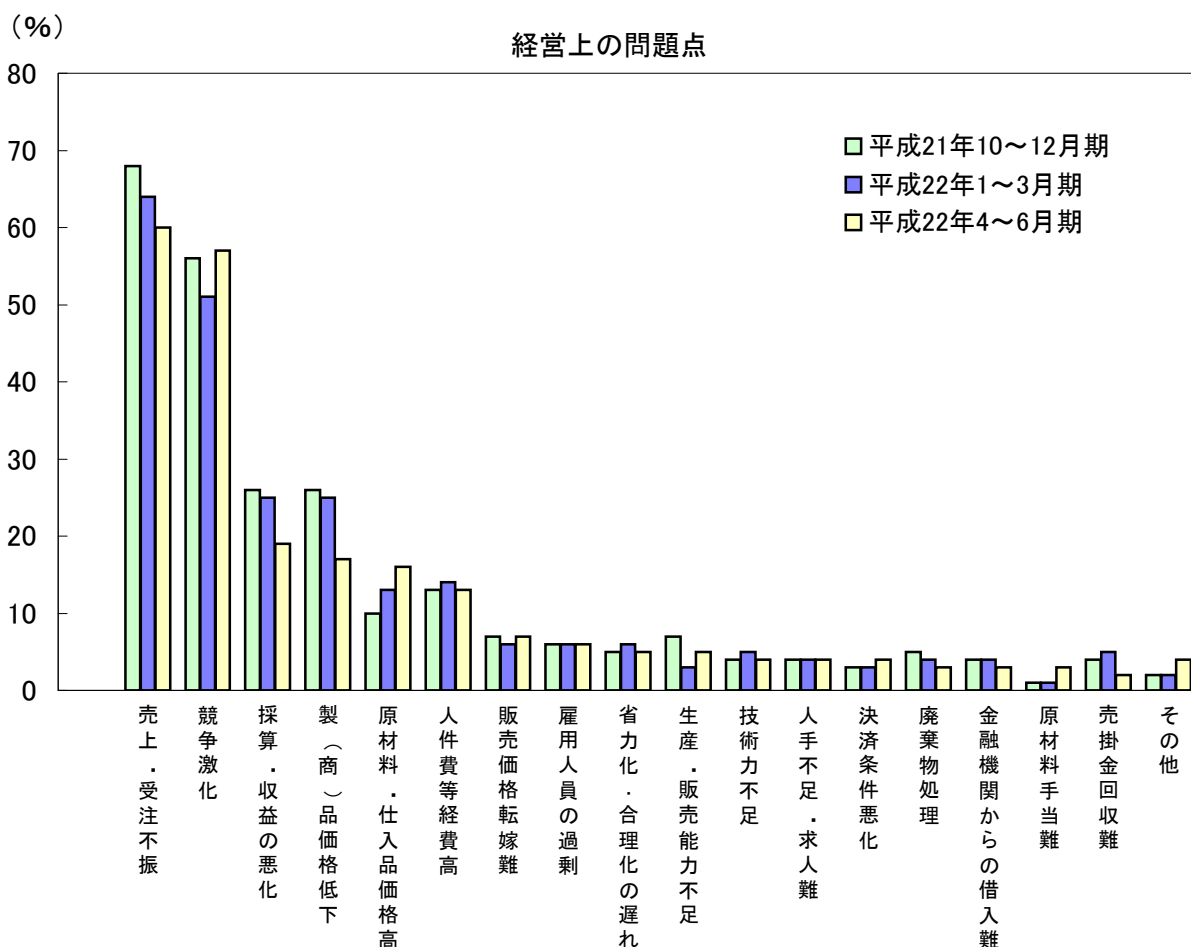
単位：%

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
11年	4～6	月期	30	39	19	17	30	33
	7～9	"	31	35	17	29	31	34
	10～12	"	31	39	15	27	31	32
12年	1～3	"	32	40	17	26	28	37
	4～6	"	35	41	26	27	34	38
	7～9	"	36	39	20	43	30	45
	10～12	"	35	45	23	30	30	31
13年	1～3	"	33	40	24	28	22	41
	4～6	"	32	36	24	25	35	31
	7～9	"	34	37	20	33	31	42
	10～12	"	31	40	19	33	29	28
14年	1～3	"	28	30	19	31	27	31
	4～6	"	30	33	15	28	35	35
	7～9	"	33	42	22	28	35	30
	10～12	"	31	37	21	28	27	40
15年	1～3	"	30	40	18	28	24	31
	4～6	"	32	34	14	40	30	38
	7～9	"	33	38	21	30	29	37
	10～12	"	33	43	26	25	22	38
16年	1～3	"	31	45	7	28	30	30
	4～6	"	31	38	33	21	24	33
	7～9	"	35	43	12	24	33	50
	10～12	"	33	36	21	23	36	39
17年	1～3	"	31	35	15	30	24	41
	4～6	"	35	42	26	28	29	39
	7～9	"	39	44	19	35	40	46
	10～12	"	48	59	27	50	39	55
18年	1～3	"	39	48	16	39	40	42
	4～6	"	35	45	15	28	33	40
	7～9	"	34	43	11	27	35	41
	10～12	"	44	50	28	35	44	50
19年	1～3	"	43	50	30	42	41	43
	4～6	"	36	48	20	31	28	40
	7～9	"	42	46	24	38	40	49
	10～12	"	44	58	25	24	42	48
20年	1～3	"	40	50	14	37	38	44
	4～6	"	38	45	11	27	42	45
	7～9	"	43	52	22	33	40	47
	10～12	"	39	49	17	26	29	48
21年	1～3	"	39	55	21	29	32	37
	4～6	"	32	38	14	26	29	37
	7～9	"	34	42	13	25	28	41
	10～12	"	31	40	13	21	27	34
22年	1～3	"	32	43	14	18	27	34
	4～6	"	29	46	16	18	15	28
	7～9	月期見通し	28	39	7	24	21	33

単位：％

	全産業		製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
	回答数	構成比					
売上・受注不振	60	25.9	55	78	60	63	55
競争激化	57	24.6	40	82	60	72	53
採算・収益の悪化	19	8.2	11	33	17	20	20
製(商)品価格低下	17	7.3	27	11	17	15	11
原材料・仕入品価格高	16	6.9	22	22	11	11	10
人件費等経費高	13	5.6	7	11	11	20	17
販売価格転嫁難	7	3.0	10	4	11	7	4
雇用人員の過剰	6	2.6	5	9	0	7	6
省力化・合理化の遅れ	5	2.2	9	2	3	2	4
生産・販売能力不足	5	2.2	4	4	0	15	3
技術力不足	4	1.7	4	7	0	2	6
人手不足・求人難	4	1.7	2	2	0	4	8
決済条件悪化	4	1.7	7	0	0	6	2
廃棄物処理	3	1.3	6	0	0	0	2
金融機関からの借入難	3	1.3	5	0	3	4	2
原材料手当難	3	1.3	9	0	0	0	0
売掛金回収難	2	0.9	1	0	9	6	0
その他	4	1.7	4	4	0	0	9
回答企業数	326		101	45	35	54	91

(注) 複数回答につき計算は 該当項目の回答数 ÷ 回答企業数 × 100



平成22年 夏のボーナス支給計画(社数構成比)

単位：%

		全産業	前年	製造業	前年	建設業	前年	卸売業	前年	小売業	前年	その他産業	前年	
支給の有無	支給する	71	73	76	73	44	47	76	82	78	76	73	79	
	支給率	月給支給額の1か月分以下	27	23	22	22	42	53	25	14	29	20	28	22
		〃 1か月分超～1.5か月分以下	35	37	33	35	37	16	39	41	39	50	32	36
		〃 1.5か月分超～2か月分以下	22	22	25	23	11	21	25	31	16	16	26	21
		〃 2か月分超	16	18	20	20	10	10	11	14	16	14	14	21
	今夏は支給しない	12	10	18	15	15	13	3	5	13	9	8	5	
未定	17	17	6	12	41	40	21	13	9	15	19	16		
一人当たりの支給額	増える	26	11	28	17	25	5	29	21	25	2	25	7	
	増加率	1%未満	10	19	10	20	0	0	25	33	0	100	12	0
		1～3%未満	41	38	30	40	20	0	38	17	40	0	63	75
		3～5%未満	12	12	10	7	0	0	12	17	30	0	6	25
		5～10%未満	8	12	10	20	20	0	0	0	10	0	6	0
		10%以上	29	19	40	13	60	100	25	33	20	0	13	0
	要因	社員の意欲向上	65	39	39	33	80	100	71	33	88	100	69	25
		業績が向上	41	33	54	44	20	0	29	33	75	0	23	25
		同業他社と比較して低い	2	6	8	0	0	0	0	0	0	100	0	0
		その他	11	33	8	33	20	0	14	33	0	0	15	50
	前年並み	53	49	51	45	55	40	57	51	47	47	55	56	
	減る	21	40	21	38	20	55	14	28	28	51	20	37	
	減少率	1%未満	2	4	7	3	0	0	0	13	0	4	0	4
		1～3%未満	14	19	7	12	25	18	50	25	11	23	8	22
3～5%未満		9	13	7	15	0	9	0	0	11	14	17	18	
5～10%未満		33	17	36	9	25	0	0	12	56	23	25	30	
10%以上		42	47	43	61	50	73	50	50	22	36	50	26	
要因	業績が悪化	86	86	93	93	100	91	75	100	67	70	91	85	
	経営体質強化に向けた人件費圧縮	21	29	13	25	0	27	25	29	33	40	27	25	
	給与と賞与の配分見直し	7	4	0	0	33	9	0	0	11	5	9	5	
	同業他社と比較して高い	7	4	0	0	67	0	0	0	11	10	0	5	
	社員平均年齢低下	2	1	0	0	0	0	0	0	11	5	0	0	
	その他	2	1	0	0	0	0	25	0	0	0	0	5	

注) 計数は構成割合。一人当たりの支給額の増加要因と減少要因は複数回答。

口蹄疫による業況への影響

【大分類】

(単位:%)

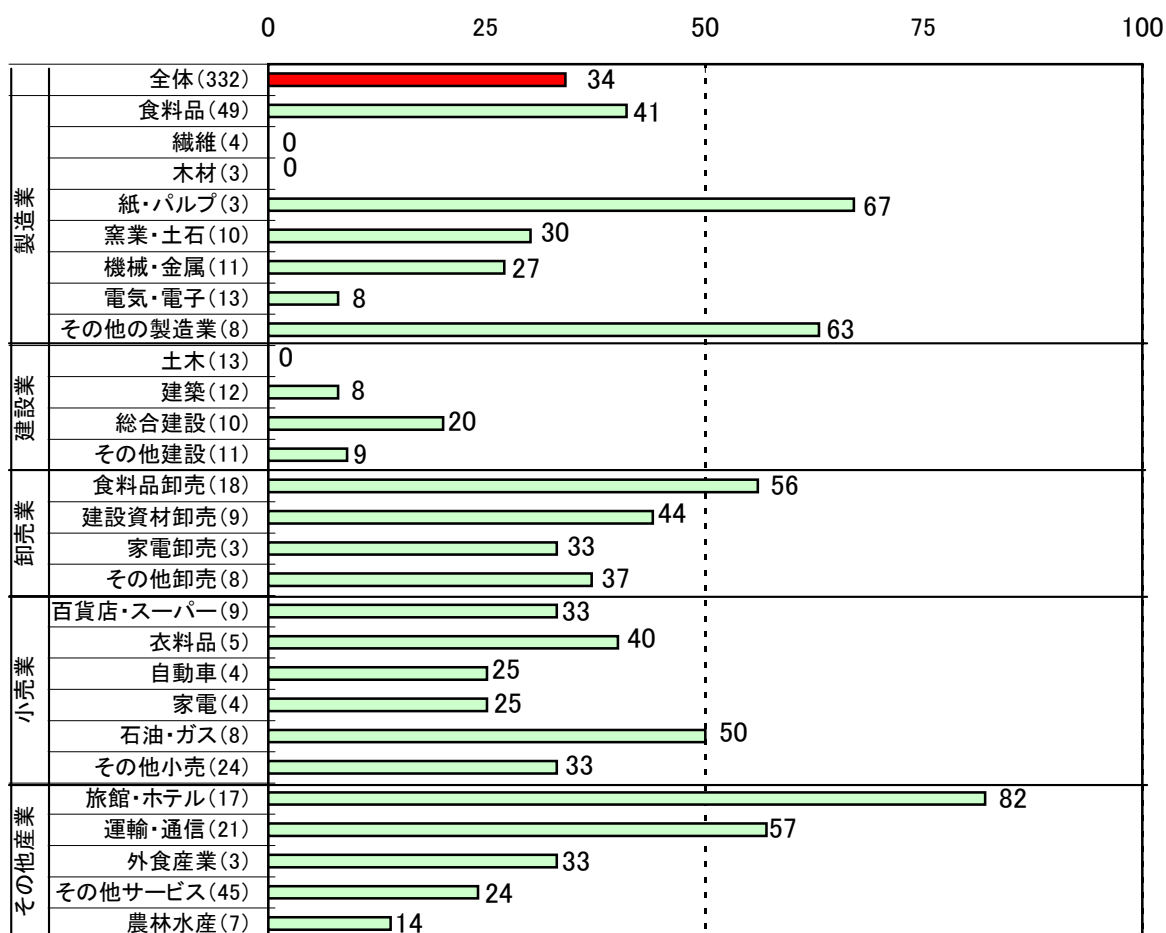
	全産業					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
影響あり	34	9	47	35	42	
影響なし	66	91	53	65	58	

回答数(参考)	332	101	46	38	54	93
---------	-----	-----	----	----	----	----

注)係数は構成割合。

【中分類】

影響ありと回答した企業の割合(%)



※()は回答企業数

口蹄疫による具体的な影響

業種		口蹄疫による具体的な影響
製造業	焼酎	イベント中止で人の集まる機会が減少。不景気で飲み会が減り、売上が落ちている。
	飼料	製品販売数量の減少、輸送コストの増加、事業所での防疫体制にかかる費用の増加。
	食肉	移動制限、搬出制限に伴い、事業活動が縮小。宮崎県の発生周辺営業所の売上高・量が減少。
		家畜市場の閉鎖等により、仕入が出来ず。今後2～3年間、業者間の競争買いによる仕入コスト増を懸念。
	水産	展示会、販売会などのイベントが中止、取引先獲得のチャンスが減った。
	菓子	宮崎の取引が減少、霧島地区の取引も減少傾向。観光への影響は、夏～秋までであるのではないかと。
	建設資材	工事現場への立ち入りが制限された。
	電気・電子	営業活動が困難となった。
	化学	営業活動、訪問が禁止された。
印刷	宮崎営業所の売上が落ちている。	
建設業	土木	牛舎・豚舎の工事がストップ、待機の為完成工事に上げられない。
		工場現場において消石灰の購入、撒布など防疫に経費がかかる。
建築	宮崎における発注の半分がストップ、第2四半期以降は影響が出そう。	
卸売業	酒類	消費減。ホテル料飲店の利用客減、キャンセル増による売り上げ減。
	食品	イベント中止やホテルの宿泊者の減少で、取引先が販売不振。
	建材	建築・土木工事の先送り、中止など。
宮崎県の取引先を回れない。		
小売業	百貨店・スーパー	観光客の来店減。
	衣料品	人が街に出かけなくなっており、来店客が減少。
		旅行者の減少、消費意欲の減退がみられる。
	石油	トラックの走行減、軽油販売減。
		交通量の減少による来客減。
		休日の交通量の減少により、来店台数が少ない。
	工具	畜産、農業、食品加工業の不安感が増大し、新規設備投資が大幅に減少している。
自動車	畜産業、飼料業等のユーザー訪問が出来なくなっている。点検契約車両の点検が消化できない。	
書籍	コンサートや催し物等、人の集まるイベントが中止になり、出張販売を見合わせた。	

その他産業	旅館・ホテル	キャンセルの多発。東京、福岡、宮崎団体9組420人。修学旅行延期2校100人宮崎の小学校。
		キャンセルの多発。南九州ツアーの不成立。修学旅行などの行き先変更。宮崎からの観光客激減。
		キャンセルの多発。5月…宿泊100名 日帰り625名、6月…宿泊252名 日帰り120名、トータル1,097名。予約にも影響が出てきており、キャンセル減収分を取り戻せない状況である。
		団体宿泊予約の延期およびキャンセルが出た。
	運輸	子牛の競り市が開催されず。離島から本土向けの牛輸送が5月から無く、減収となっている。
		大隅方面での集配作業、思う様に動けていない。
		飼料等の輸送が減少。
		口蹄疫対策として、入場する大型トラックの消毒に係わるコスト増。今後売上の減少が見込まれる。
		物量が減少し、獲得競争が激化している。消毒作業に伴い、配送時間が延長している。
	倉庫	今後飼料保管(売上)への影響がある可能性あり。
	システム	畜産関連システムの打ち合わせ等ができない。本州のお客様より九州からは今の時期は来ることを遠慮して欲しい、との意見もあった。
	ゴルフ場	来場者数の激減。コンペのキャンセル約1,000名(4月～6月)。

最近の業況に関する主な意見

業種		最近の業況
製造業	焼酎	5月連休以降、市場の動きが急激に鈍化。低価格志向の強まりと消費の落ち込み。昨年の定額給付金の影響もある、との意見もあるが、ハッキリと分からない。
		酒類業界全体が落ち込んできている。特に県内焼酎メーカーで関東・関西地区で売上を伸ばしてきたメーカーが軒並み落ち込む。他酒類がそれほど伸びているわけではなく、全体の消費が落ち込んでいる模様。
		甲乙混和焼酎がかなり増加。競争上、商品価格の低下が予想される。
	菓子	来春の新幹線全面開業という好材料の前に宮崎県の口蹄疫がどのように影響するか心配している。来春までは観光業界にとって非常に大事な時期、じっと耐えるしかない。
	味噌・醤油	大手スーパー等の店頭価格の値下げ競争により、販売数量及び収益力低下を懸念。
	窯業・土石	公共工事の減少が売上高に影響。
電気・電子	半導体大手は内製化でコスト削減を進めている。大手はそれなりに回復基調にあるが、中小企業は回復の兆しが見えない。	
	ヨーロッパの金融不安が広がらず安堵感がある。中国人民元の為替相場に注目。	
運動用具・用品	コストの安い中国・東南アジアでの製造がほとんど。製品も日本製にひけを取らなくなりつつある。特に地方の場では日本人の働ける場のなくなり方が速い。	
建設業	建築	売上はあっても利益が向上しない。建設業を取り巻く環境は一層厳しくなると予想。生き残りが出来るかが最大の課題だ。
	その他	公共工事の減少、新規設備投資の減少、受注競争の激化による受注単価の引き下げ等のマイナス要因はあるが、基地局建設、防災関連設備はまだ活況である。
卸売業	食料品	顧客の減少により、売上減が5月から発生。今後、夏場に向け相当の売上減が見込まれる。来期の計画が予想できない。
		大手量販店の進出により、地元の量販店の販売が減少気味。
	建築資材	公共工事の削減等により受注が減少。同業者間の競争が激しくなり、販売単価に影響。
小売業	百貨店・スーパー	客単価が減少。大型スーパーの影響で客数減少。
	自動車	9月で補助金が打ち切られることが最大の懸念材料。
	家電製品	エコポイント制度の一巡感を心配していたが、引き続き顕著な動きである。足元のテレビ販売単価低下を猛暑販売期待が高まる夏向け商品がカバーしてくれそう。
	石油	大型車から小型車への顧客の乗り換えが進み、販売数量が落ち込む。公共事業の減少もあり、販売数量確保が困難である。
	書籍	インターネットや電子書籍などの発展で、書籍・CDの市場は縮小傾向。競争も厳しく、店舗の大型化や特徴ある店作りに生き残りをかける。今後も企業間の合併等での覇権争いが増加すると予想。

その他産業	旅館・ホテル	南九州観光は宮崎と鹿児島でひとくくり、1日も早い口蹄疫の終息を祈る。
		新規ホテル開業で競争が激化、平日の稼動が悪くなってきている。また桜島の降灰で屋外ビアガーデンなどは打撃を受けている。
		新幹線開通に伴う新規ホテル開業により、競争が激化。客単価のさらなる低下を予想する。
	運輸	地域の得意先が特に弱体化している。全国の手も減少しているが物流合理化等により再編成が進んできている。
		イベント中止が相次いでおり、観光業として多大な影響を受けている。
	外食	売上のほとんどを航空機利用者に依存しており、昨今の航空不況の影響をまともに受けている。競合業者との競争も熾烈。
	警備	厳しい状況が続いているが、毎月の数字が大きなブレはない。ただ、同業間の競争は激しく、契約額の低下、収益減と負のスパイラルに入る恐れあり。新規先もこの景況感で多くは望めず。
	不動産	人の動きが鈍い。土地・建物の売買、賃貸借の動きが減少。
水産	デフレスパイラルの中で魚価の低迷は恒常化。漁獲率低下による漁業収入の伸び悩み、燃油価格の高止まりによるコスト高、乗組員の高齢化と漁船の老朽化と課題は多い。	